

刊行にあたって

……………大塚保治 5

はじめに——慶応義塾と科学技術

……………石川忠雄 7

I 科学の美学について

P・W・アンダーソン 17

II 情報科学における新しい流れと期待

……………相磯秀夫 45

III 情報化と知の再構築

……………高橋潤二郎 65

IV 脳科学と遺伝子工学

……………御子柴克彦 91

V 人にはどれだけのものがあるか

……………鈴木孝夫 121

——エネルギー物質多消費文化への警告

VI エネルギー科学——高度技術とのかかわり	飯吉厚夫	149
VII 地球環境と科学の進歩	W・L・ロング	169
VIII 将来の科学技術	近藤次郎	189
あとがき	餌取章男	211

